

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学医学部附属病院
薬剤部

【研究課題名】

食道がん化学療法施行患者に対する Pegfilgrastim の有効性の検討

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2017年3月31日

【研究の意義・目的】

発熱性好中球減少症（FN）はがん化学療法において重篤な転帰をたどる可能性のある有害反応です。そのため、発生率 20%以上のレジメンを使用する際は、G-CSF の一次予防的投与が推奨されています。2014年11月に従来の G-CSF をポリエチレングリコール化させた持効型製剤である Pegfilgrastim が発売され、がん化学療法による FN の発症抑制に用いられている。しかし、本剤の FN 発症抑制効果は Day1-3 のみに抗がん剤が投与されるレジメンで証明されているものであり、食道がん患者さんで用いられる Day1-5 まで連日抗がん剤が投与されるレジメンに対する効果を示した報告はありません。そこで食道がん化学療法施行患者さんに対する Pegfilgrastim の有効性を明らかにします。

【研究の方法】

大阪市立大学医学部附属病院の情報検索システムを用いて、食道がん患者さんで化学療法を実施した患者さんを抽出します。抽出した患者さんの背景、臨床検査値、発熱の有無、抗生物質使用状況を調査します。

【個人情報の取扱い】

個人が特定できる情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には十分注意を払います。また、この研究の結果は個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

【研究組織】

研究代表者 高橋 克之

実施分担者 冢瀬 諒、永山 勝也

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪市立大学医学部附属病院薬剤部

研究責任者 高橋 克之

電話：06-6645-2277 FAX：06-6646-0373